

兵庫播磨地域の4ヶ所でベニトンボを確認

東 輝弥¹⁾ 三浦 喜太郎²⁾ 糸数 幸高³⁾

ベニトンボ *Trithemis aurora* (Burmeister, 1839) は東洋熱帯に広く分布するトンボで、日本では南西諸島と九州に分布し、北に分布を拡大中である。兵庫県では2016年に神戸市、2017年に淡路市、2019年に加西市、姫路市で確認されている。本年筆者らは、これまで記録のなかった赤穂市、加東市、加古川市と新たに姫路市の異なる場所で確認したので報告する。

なお、三浦喜太郎氏、糸数幸高氏の情報は近藤伸一よりもたらされた。近藤氏には新たな情報をお知らせいただき感謝します。

1 加東市上鴨川

確認日 2022年6月25日(写真1)

確認者 三浦喜太郎

状況

加東市「やしろ鴨川の郷」施設内の観察ため池の中にある枯れ枝に、1頭が羽根を休めているのを撮影した。その後6月27日にも同一と思われる個体を確認している。

2 加古川市志方町畑

確認日 2022年6月22日

確認者 糸数幸高

状況

法華山一乗寺に通じる県道とため池間の4mほどの水路でベニトンボ1頭がショウジョウトンボと縄張り争いをしていた。



写真1 2022年6月25日 三浦喜太郎 撮影.

3 赤穂市西有年字横山

確認日 2022年7月23日1♂(写真2), 同月31日1♀

確認者 東輝弥

状況

当日はショウジョウトンボにしては少し変わった色のトンボを見つけ、取りあえず写真を撮っておいた。帰宅後、図鑑によりベニトンボと判明した。31日には確認の為に訪れて雌の産卵行動を観察することが出来た。ショウジョウトンボの産卵行動と違った個体が産卵していたので写真を撮ったが、距離があまりすぎて上手く撮れなかった。

4 姫路市飾東町小原新

確認日 2022年9月24日2♂(写真3), 同月25日2♂1♀, 同月26日1♂

2022年9月25日に1♂採集

確認者 東輝弥

観察記録

この池ではよく似た形態を持つショウジョウトンボ、ネキトンボが混棲してお互いに縄張り争いをを行い行動が落ち着かなかった。そんな中で25日には交尾、産卵を目撃することが出来た。雄は連結状態で池に入り少し飛び回ってから交尾に入り、ショウジョウトンボのようにすぐに交尾を解かず飛び回ってから連結状態で打水産卵の産卵行動に入った。そして連結を解いて雌単独で産卵行動をした。その際ショウジョウトンボの雌の産卵行動と違い、池の途中で前進しながら打水産卵を行った。この行動はネキトンボの産卵と似ていた。26日にも観察に出



写真2 2022年7月23日 東輝弥 撮影.

¹⁾ Teruya AZUMA 兵庫県高砂市；²⁾ Kitarou MIURA 兵庫県加古川市；³⁾ Yukitaka ITOKAZU 兵庫県加古川市



写真3 2022年9月24日 東輝弥 撮影.

かけて見ることが出来た. その後も観察に行ったが見ることが出来なかった.

参考文献

- 稲畑憲昭, 2017. 淡路島初記録となるベニトンボを採集. きべりはむし 41(1): 40-41.
- 三浦喜太郎, 2017. ベニトンボを加西市で撮影 きべりはむし 42(2): 64
- 石田真載・石田哲載, 2017. 姫路市初記録となるベニトンボ採集 きべりはむし 42(2): 63-64
- 村重 隆, 2018. 神戸市でベニトンボを採集. Gracile 78: 23.